

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「製図」	製図（実教出版） 製図ワークノート・新課程版（実教出版）	2単位	繊維科・第2学年

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 設計製図に必要な基本的な技能を身につけるため、製図用具や用紙の使い方、線とその太さ、文字の大きさ・形、図形を表す方法などを習得する。</p> <p>2 練習課題を通して各種製図技法を学び、ドラフター等で各種図面が描ける技能・技術を身に付ける。</p>
---------	--

### 2 学習計画及び評価方法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 製図の基礎	4	・製図用具、用紙、線など基礎的項目を学習する。	
		5	・ドラフター操作の基本を学習する。	
		6	・基礎的な文字や図形の描き方を学習する。	
		7	・展開図について学習する。	
2 学期	4 各種の製図 (インテリア製図)	8	・各種投影法について学習する。	
		9	・正投影図、第三角法の練習。	
		10	・透視図について学習する。	
		11	・一点透視図の練習。	
		12	・二点透視図の練習。	
3 学期	演習	1	・演習（自室／店舗を設計する。）	
		2	・演習（パースを作成する。）	
		3		

### 3 評価規準及び評価方法

#### (1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	・基礎的な図、投影法、製作図の基本を理解し、効果的に活用するための論理的な考え方や技法を身に付けているか。	・基礎的な製図の知識を使って、立体を捉えることができるか。 ・製図の技法を正しく理解して、適切な図面を描くことができているか。	・各種製図技法に興味を持ち、作品制作を意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度で臨んでいるか。

#### (2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する制作等で、正しい知識や正確な技術を総合的に評価する。	授業中に実施する制作等で、合理的な思考・判断、豊かな表現力等を総合的に評価する。	授業中に実施する制作等で、主体的な取り組む態度を総合的に評価する。

### 4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリア製図として、各種立体図法を学習します。</li> <li>・授業に必要な、教科書、ワークノート、製図道具等の準備物を忘れないようにすること。</li> <li>・練習問題等の提出は、期限を厳守すること。</li> </ul>
---